



下北教育事務所
QRコード

社会教育だより「かけ橋」はバックナンバーも含めて下北教育事務所のホームページでご覧になれます。

報告

小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業

ジュニアガイドツアー

前月号でお知らせした大湊小学校の6年生が行った「ジュニアガイドツアー」の内容をいくつか紹介します。

少し肌寒さを感じる天候ではありましたが、10月5日(水)に無事開催することができました。子どもたちは、今までの学習の成果をしっかりと発表できました。



【旧大湊水源地水道施設】

明治時代の建造物で歴史的価値が高く、特徴的な構法で築かれた精緻な石造り建造物であるため、国の重要文化財に指定されています。指定された建造物は、第一引入口、沈澄池堰堤、乙水槽の3施設です。

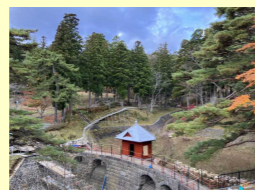


『第一引入口』

・明治35年に開庁した大湊水雷団の艦船補給用水確保のために造られた最初の水道施設。

『沈澄池堰堤』

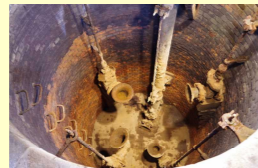
・水雷団から要港部に格上げされ、船がたくさん配備され、更に水が必要となり、水道施設を拡張するため、明治45年に造られた。(貯水量は5,000 t.)



※現在改修工事が進められ、令和5年3月末終了予定です。

『乙水槽』

・八角形の上屋の中に、内径2.5m、深さ4mの水槽で、明治43年に完成。



⇐乙水槽の内部構造です。

放課後子ども総合プラン支援員等研修会(後期)

～10月19日(水)むつ市中央公民館～

前期に続いて、各所属2名までの人数制限を設けて行いました。なかよし会と放課後子ども教室の支援員37名が参加し、簡単にできる運動遊びや身近な物を生かした集団遊びを体験しました。

講義:「遊びのマイスターから学ぼう
～新しい生活様式に配慮した遊び講座～」

講師: NPO法人 子どもネットワーク
すてっぷ 代表理事 奈良 陽子 氏



【講師から】

☆じゃんけんを活用して

- じゃんけん列車
 - ・勝った人の後ろに負けた人がつながっていきます。
- 体じゃんけん
 - ・グー、チョキ、パーを体を使って表現します。



☆ペットボトルのキャップを活用して

- キャップ積み
 - ・キャップを何段積み重ねられるか競います。
- キャップ並べ
 - ・キャップでお絵かきをします。



☆新聞紙を活用して

- 新聞紙ウォーク&ランニング
 - ・落とさないように、新聞紙を頭に乗せて歩いたり、お腹や足の前に当てて走ったりします。
- パズル作り
 - ・新聞を手でちぎってパズルをします。(少しずつピースを増やしていく。8→16→32・・・細かくしすぎると、大人でも難しくなります。)



☆上記以外にも、体ほぐし(腹筋・背筋トレ)や紙飛行機(投力アップ)を楽しんでの筋力トレーニング、手をつないでの動作、風船遊び等が行われました。あっという間に時間が過ぎました。

【参加者の声】

- ・身近にある新聞紙、キャップを使った遊びを楽しくできました。すぐに取り入れたいです。
- ・大人も子どもも楽しめる、またこれを土台に遊びを発展させたり、新たな発想を促したりできる内容でした。

下北地区社会教育研究会 大間大会

～11月16日(水)むつ来さまい館～

新型コロナウイルス感染、大雨による災害の影響により延期や資料提供で終わっていた下北地区社会教育研究大会が、3年ぶりに大間町で開催されました。

講義・演習

『繋ぐ』ことから始まるこれからの
地域づくり

講師: 大間町地域づくり団体ツナグ

代表 藤枝 誠 氏



【講師から】

☆『大間町地域憩いの場』の開催

- ①社会教育団体を設立して、地域住民が「学び合い・助け合い・支え合い」ができる場所(居場所)を提供。
- ②地域で活動している団体を繋げて、地域の魅力を発信。

☆まとめ

人と人が繋がることで、得られることはたくさんある。大間町を見渡すと繋がれる場所が限られている。『地域憩いの場』は少しでも地域住民が繋がれるようにと願いを込めて開催している。

文部科学大臣表彰

視聴覚教育・情報教育功労者表彰

太田 眞佐清 氏(元大間町立奥戸中学校 教頭)

9月21日(水)に下北教育事務所長室において、「文部科学大臣表彰 令和4年度視聴覚教育・情報教育功労者表彰」の伝達式が行われました。

太田氏は、教員としての在職中、下北小中学校教育研究会視聴覚部会に所属し、長きにわたり会長を務め、会の運営に尽力されました。

青森県中学校教育研究会視聴覚部会においては、映像教材の製作に取り組み、地域の自然や風習、郷土芸能等をまとめた視聴覚教材は、むつ下北管内小・中学校に配付・活用され、視聴覚教育の振興・発展に貢献したことが評価されました。

